

會務報告

第28卷第4號 昭和17年4月

役員會

第1 同常議員會 (昭. 17. 2. 23.)

出席者：草間會長、黒田、鈴木兩副會長、青木常議員外13名、那波前會長外4名、丹羽鋤彦君、中村書記長、小野寺庶務主任外2名

報告

1. 北海道支部役員異動
2. 日本工學會評議員會議事

議事

1. 昭和17年度理事に次の諸君を選任
青木楠男君(再) 堀越一三君(再) 福田武雄君(新)
信澤貞治君(新) 岩崎瑩吉君(再) 山下輝夫君(新)
2. 各部々長に次の諸君就任
總務部長 青木楠男君 經理部長 堀越一三君
編輯部長 福田武雄君 調査部長 信澤貞治君
法制部長 岩崎瑩吉君 東亞部長 山下輝夫君

3. 入退會を別紙の通り承認

第1 同理事會 (昭. 17. 3. 9.)

出席者：草間會長、黒田、鈴木兩副會長、青木理事外4名、中村書記長、小野寺庶務主任外2名

報告

1. 關西支部第1回役員會及特別委員會議事
2. 中國四國支部幹事會及役員會議事
3. 滿洲土木學會役員會議事及役員異動

議事

1. 關西支部内規第一條中「商議員16名」を「商議員18名」に変更承認
2. 西部支部内規改正の件は同支部長來京中に就き疑義の點を一應協議し次回更に審議
3. 中國四國支部昭和16年度決算を別紙(省略)の通り承認
4. 日本工學會本會選出評議員並に編輯委員は次の兩君依屬

評議員 青木楠男君

編輯委員 福田武雄君

5. 日本工學會「工學工業年報」に對する登載記事執筆者の銜は編輯部長に一任
6. 厚生科學研究所圖書館に對し會誌寄贈の件は保

留

7. 昭和17年度會誌編輯委員會委員長及委員に次の諸君依屬

委員長 福田武雄君

委員 五十嵐醇三君、近藤鍵武君(再)

須之内文雄君、杉戸清君

瀧山養君、星野陽一君

本間仁君、最上武雄君(再)

米屋秀三君

8. 建設機械研究委員會(1月26日設置決議)の委員長及委員に次の諸君を依屬することとし委員會要綱を別紙(省略)の通り決定

委員長 谷口三郎君

第1部委員長(建築學會選出)

第2部委員長 本間源兵衛君

第1部委員 正子重三君、澁谷順作君

内山實君、横田周平君

佐藤輝雄君、谷井陽之助君

田中五郎君、宮地武夫君

第2部委員 河野正吉君、笠原宏君

湯本久右衛門君、上關徳也君

内林達三君、落合林吉君

松尾春雄君、山下輝夫君

尾之内由紀夫君、岩澤忠恭君

松村孫治君、森豊吉君

有馬宏君、中井秀雄君

小野一郎君、湯本武君

伊藤令二郎君、目黒雄平君

外に日本發送電及東京市より3

名位選定

幹事 落合林吉君 松村孫治君

事務囑託 宮澤岩雄君

9. 南方問題に關し來る3月11日談話會開催
10. 4月上旬南方に關する講演及映畫會を開催
11. 4月又は5月頃防空學校其他の見學を行ふこととし交渉を進むること
12. 第4回年次學術講演會を東北支部管内に於て開催することとし同支部長に開催に關する一切を依屬
13. 昭和17年度支部長會議を4月10日午後3時本會々議室に於て開催に決定

總 務 部 記 事

第 15 回對標調査委員會 (昭. 17. 3. 3.)

出席者：釘宮委員長，青木委員外 7 名，小野寺庶務主任

協議事項

1. 河上委員提出の 2-4-4 水面偽装(ゲラ刷)に對する逐上審議
2. 奥田委員より 2-6-2 防火材料及防火構造に對する資料提出あり之をゲラ刷として次回審議

第 16 回對標調査委員會 (昭. 17. 3. 12.)

出席者：釘宮委員長，奥田，友永，最上，牧野各委員，小野寺庶務主任

協議事項

1. 淨法寺委員提出の 1-1-2 空襲目標，1-1-3 空襲方法(ゲラ刷)に對する逐上審議を行ふ

外人功績調査委員會 (昭. 17. 3. 10.)

出席者：那波委員長，眞田副委員長，安藝委員外 5 名，江澤幹事，中村書記長，小野寺庶務主任

1. 眞田副委員長より製本出来上りまでの経過並に題名を「明治以後我邦土木と外人」と變更したる理由を説明し了解を求む

2. 寄贈先に就き原案に依り逐上審議し，製本部數に限りあるを以て可成的 250 乃至 300 部位の限度にて寄贈先を決定すること

3. 出席委員各位に對し製本 1 部宛贈呈

4. 本委員會の事業は之を以て終了したるを以て會長に報告すること

午餐會 (昭. 17. 2. 17.)

土木學會地方委員鐵道局工務部長會議關係招待

會 場：あじあ(滿鐵ビル)

出席者：土井工務部長外 6 名，三浦工務局長外 12 名，草間會長外 14 名，那波前會長外 3 名，中村書記長外 3 名

午餐會 (昭. 17. 3. 10.)

土木學會地方委員内務省土木出張所長會議關係招待

會 場：丸之内會館(丸の内)

出席者：佐藤土木出張所長外 7 名，金子課長外 17 名，草間會長外 10 名，那波前會長外 4 名，中村書記長外 3 名

談話會 (昭. 17. 3. 11.)

會 場：丸之内會館(丸の内)

出席者：那波，眞田，久保田，青山各前會長，丹羽鋤彦君，池邊稻生君，草間會長，黒田，鈴木，兩副會長，青木，堀越，岩崎，山下各理事，中村書記長外 2 名

1. 南方建設問題に關し意見の交換を行ひたる結果調査研究機關として強力なる委員會「大東亞建設委員會(假稱)」を設置することに申合

編 輯 部 記 事

第 3 回編輯委員會 (昭. 17. 3. 11.)

出席者：福田委員長，安藝前委員，五十嵐，須之内杉戸，瀧山，星野，本間，最上，米屋各委員，瀬尾編輯主任，志村，梅津，鈴木各編輯囑託

1. 昭和 17 年度會誌編輯委員の擔當部門を決定
2. 第 28 卷第 2 號登載原稿の謝禮決定
3. 第 28 卷第 5 號登載原稿を決定
4. 第 3 回同年次學術講演會記錄作製の件は昨年 11 月末より鋭意原稿募集中なるも 1 月末までに應募するもの僅か 30 編にして，其の後應募皆無につき該記錄は作製せざる事に決定

調 査 部 記 事

水理公式調査委員會幹事會 (昭. 17. 3. 5.)

出席者：鈴木委員長，安藝，本間兩幹事，杉戸，福田，横田，佐藤各部幹事，内田囑託

議 題

1. 各部會草案に就きて再検討を加へ，字句の修正形式の統一等に對する各幹事の意見を取纏む
2. 近日開催の總會に對する議事の統一を行ふ
3. 委員會の今後進行すべき方針につき討論

關 西 支 部 記 事

第 1 回役員會 (昭. 17. 2. 27.)

出席者：佐藤支部長，野々口商議員外 5 名，岩田前支部長外 5 名，柳田前商議員外 2 名，兵藤幹事長，古藤幹事(代)

議 事

1. 商議 1 名補選
2. 第 2 回座談會開催
3. 春季見學會開催
4. 防空土木調査會設置
5. 支部内規

改正

役員異動

商議員 退任 菊池壽芳君 新任 大橋静夫君
特別調査委員會委員長會

協議事項

1. 委員會に關する事項 2. 委員に關する事項

華北支部記事

特殊技術講習會

日時：昭. 17. 2. 23-25

會場：建設總署第一會議室

演題及講師：黄土の特性に就て 山崎 博君

河北地區に於ける水源事情

池田廣志君

塘沽新港の閘門に就て 中道峰夫君

北京水道の現況と將來計畫

鴨打秀利君

コンクリート構造に就て 木村公道君

永定河橋梁工事報告 柳 一君

與へられたる輸送量に對する軌道運搬

方式 松尾正一君

昭和 14 年天津地方の水災に就て

桐谷一男君

見 學：永定河蘆溝橋附近水利及工事

説明 {秋草 勲君

佐藤寛政君

西郊都市建設 説明 猪瀬寧雄君

鑛道工事 説明 秋山和夫君

石景山鐵工所

參加者：125 名

土木學會華北支部主催「華北に於ける特殊技術講習會」狀況概要

2月23日の北京は新嘉坡陥落慶祝行事終了の直後で故宮天安門前には未だ祝賀飾付の残つてゐる舊正新春の薄曇りの日であつた。華北支部主催に係る「華北に於ける特殊技術講習會」は天安門に程遠からぬ建設總署第一會議室にて行はれる事になつてゐたから、參加會員の多くは定めし天安門前の米英慘敗の漫畫に快哉を感じつゝ、同時に皇軍將士の苦闘に新なる感激を抱きつゝ參集したことであらう。

本支部今回の講習會開催の事が1月始め發表せらるゝや、各方面に對し豫想遙に以上の反響を起し聽講希

望の聲は思はぬ方面からも出で能ふる限り之を容れ來つた爲、當初の豫定人数 100 名以内を相當超過したのであるが、尙會場の設備其の他の關係上折角の申込を遺憾乍ら謝絶せねばならなかつた状態であつて、會場建設總署第一會議室は最早少しの餘裕なき迄の超滿員の狀況で始められた。

本講習會に参加された會員は當日の受付によれば、講習會のみの参加 119 人、講習會見學會の参加 99 人であつた。

第 1 日 (2 月 23 日)

定刻 10 時振鈴を以て會場内着席整列し秋山幹事司會の下に國民儀禮による東方皇居遙拜をなし次で大東亞戰爭完遂祈願と皇軍將士に對する感謝の黙禱を捧げ江守幹事長の開會の辭、更に三浦支部長より別項の如き極めて感銘的なる挨拶の辭あり終つて講演に入る。

1. 黄土の特性に就て 正會員 山崎 博君

2. 華北に於ける水源事情 正會員 池田廣志君

3. 塘沽新港の閘門に就て 正會員 中道峰夫君

4. 北京水道の現況と將來計畫 正會員 鴨打秀利君

第 2 日 (24 日)

午前 9 時 50 分集合定刻 10 時開會直ちに豫定の講演に入る。

5. コンクリート構造に就て 正會員 木村公道君

6. 永定河橋梁工事報告 (主として井筒沈下に就て)

正會員 柳 一君

7. 與へられたる輸送量に對する軌道運搬方式

正會員 小西利明君

8. 昭和 14 年天津地方の水災に就て

正會員 桐谷一男君

以上にて本講習會を全部終了し之れより懇談會に入る。懇談に先ち郡副支部長より華北の鐵道の物資主として石炭輸送に對する使命に就いて又東亞縱走鐵道連絡計畫 (北京-昭南間) に就いて御所懐の一端を述べられ參會者一同は其の緻密な且雄大な、お考に對して深く啓發される所があつた。目錄にはないが此の日懇談會終了後建設映畫の映寫をなす豫定であつた爲、時間の都合上又參會者に餘り發言者ない模様であつたので懇談會は之を以て終り小型の後映畫上映に移つた。

映畫の内容は、大東亞戰爭ニユース 4 卷、北支開發現況 4 卷、樂園西郊 2 卷で、大東亞戰爭勃發當時東條首相の國民への力強いラヂオ放送、各地の戦況ニユース等により一同感激の念を新にし次で北支の各建設事業の進展狀況、最後に建設總署執行に係る北京西郊都市

の生活状況等を銀幕を通じて納得し豫定を幾分遅れて午後 5 時半終了し秋山幹事の閉會の辭を以て本講習會は明日の見學を殘して有效盛會裡に終了し散會したのであつた。

第 3 日 (2 月 25 日)

午前 10 時集合、建設總署にて用意せるバス 4 臺に分乗し出發す、長安街を西に新開城門たる啓明門を出づれば西郊都市への坦々たる鋪裝道走る郊外の風景を望みつゝ走ること暫し新市街區域に入る、左右に立並ぶ住宅家屋は既に郊外生活を初めおるものあり或は建築中のものあり、四五月頃殊に有名な北京の秋ともなれば斯る新市街生活は如何に親しみに満ちたものであるかを偲ばしむ。建設總署西郊施工所に至る、此處にて北京工程局都市科長たる猪瀬幹事より西郊都市の計畫、建設狀況に關して説明を承り次に建設總署河川科長秋草勲君より永定河の水理説明とこれより見學せんとする藍溝橋永定河溢流堤工事説明とを拜聴し終つて晝食をすませ、記念撮影を行ひ再びバスに分乗して行程を進む、藍溝橋溢流堤は建設總署の水利工事に屬し現在基礎掘整程度のものであつたが有名な永定河の洪水放流をなすもので竣功の曉には永定河筋下流部の防水に大きな効果をもたらすものである、之より宛平縣城迄戻り北に永定河堤防上を走り石景山に向ふ、午後三時石景山製鐵所に到着す、先づ製鐵所幹部の方より一般的説明あり終つて見學者は 4 班に別れ夫々製鐵所職員の方の案内説明によりコークス爐、熱風爐、熔鑛爐、銑鐵砂床、鑛滓處理、貯水池等製鐵事業操作の全施設を見學するを得た。唯、時間の都合で熔融鐵の出爐を見得ず残念であつたがこの見學により從來書物の上で製鐵の次第を理解してきた一同は一見に及んで更に明確なる把握をなし得た事と、有名な石景山製鐵所そのものに對し充分な認識をなし得た事は見學會の效果として最も大なりと云ひ得よう。午後五時歸途につく、途中今事變發端の場所一文字山にて下車參列し護國の英靈並に皇軍將士に對する新なる感謝を捧げ默禱を行ひ大日本帝國並に中華民國の萬歲三唱をなし今回の催しを全く終了せる事となし歸途方向別にバスに分乗歸家についた。

本見學會に於て建設總署並に石景山製鐵所に於ては多數の會員の參上にも拘らず心よく案内をせられたるのみならず茶菓の接待迄戴いた事は厚く感謝に堪へぬ次第である。

以上にて今回の講習會並に見學會の模様報告を了る。

今回の催しは參加會員の希望の數から推して且又開催の實狀から顧ても相當效果的のものであつた事は必ずしも主催者側の自惚れではないと考へられる、後日に於て參加者の感想を聽いて見度いと思ふが定めし一應の満足を抱いて歸へられた事に違ひないと考へてゐる、併し好ければ好い丈けに更に希望がある筈であるし、會場の手狭、少しの餘裕なき時間其の他に關しては我々も次回を期し度いと考へてゐる、そして少くとも年一回、次回からは講師も聽講者も内地、滿洲を含めたものにし約一週間位の日程で充實したプログラムで現地技術の向上研究を進める機会にし度いと考へる次第である。

本講習會の開催に當つて會場、其の他の施設、映畫上映、見學會のバスの配車等に就いて建設總署並に華北交通會社の非常な御援助を賜つた事と諸準備、當日の受付其の他雑務の爲各方面の方々一方ならぬ御骨折を煩はした事を土木學會華北支部役員として衷心より感謝する次第である。

中國四國支部記事

役員會 (昭. 17. 1. 24.)

議 事

1. 支部長改選
2. 縣部會經費決定
3. 昭和 16 年度決算報告
4. 昭和 17 年度豫算
5. 昭和 17 年度事業
6. 新會員勸誘

役員異動

幹事長 退任 大島六七男君 新任 西岡 宏 治君
評議員 退任 西岡 宏 治君 新任 善如寺秀太郎君

滿洲土木學會記事

第 1 回常議員會 (康德. 9. 1. 20.)

出席者: 平山會長、坂田副會長、町田常議員外 1 名
佐藤書記長、濱、山田主事外 2 名

議 事

1. 工事資料蒐集編纂委員會設置
2. 冬季施工に關する座談會開催
3. 通俗講演會開催
4. 記念講演會及見學會開催

- 5. 工事請負制度改善研究委員會結果
- 6. 新入會承認
- 7. 會誌寄贈
- 8. 其他報告

その他記事

土木學會誌第 38 卷第 3 號を發行成規の手續を了し會員に配布せり。

入 會 及 轉 格 會 員

特 別 會 員 (入 會)

福岡縣若松市 柳川精四郎 木本新一 立山辰雄 3 級

正 會 員 (入 會)

市川覺逸	浦上松壽	滑作鼎	木村環	河原安治	坂本虎次
鈴木彬	小林勝索	周迪平	徐緬唐	杉原忠雄	高橋平健
古館忠次	山田次郎	沈瀧	谷口邦男	趙福増	井山爲治
中村四郎	橋本忠行	肥沼清治	平山	趙富強	土村

准 會 員 (入 會)

相場竹二郎	新居弘	井浦兩	伊勢邦市	伊藤文夫	池田泉
池田孝巳	田良一生	石川正吉	石田四朗	岩城茂郎	岩永原
上島克巳	梅野節正	小畑軫夫	王齊藤	勝田永氣	河志田如夫
北島銀治	柴田爲茂	黒鈴木武	蘇學敏	境關比	竹内久重
重信英夫	土出四郎	新松野豐	馬場國茂	日宅元吉	廣田光一
福武藤久夫	山之内繁夫	山田清治	三原田一	三翁田正	水野邊文
石田久夫	勝又俊	佐島辰吾	武田	原	渡久富勝
藤島虎					

學 生 會 員 (入 會)

鬼木英胤	工藤義男	佐藤孝高	野功	谷口健治	鶴田宗雄
林良一	福光榮一	丸尾周治	山本慶一	吉ヶ池正	合志
西村謙	廣部一	宮田牧人	吉富繁		

正 會 員 (轉 格)

瀨尾五一 高木精一 留目巳之松 牧野邦雄 渡邊正助

准 會 員 (轉 格)

阿部功	阿部浩	安藤毅	足立力	相秋新	愛麻甲
青木繁夫	青木正記	青木美寛	青谷健一	元昌昌	麻生生
淺野國康	新井利郎	有賀世治	井上叔	井口狩	井猪股
伊丹康之助	伊藤新一	伊藤雅夫	伊池幸	田一	石
飯田泰之	飯高新一	池上正			

昇弘郎雄治裕美之稔馬仁化雄一男治美七郎甫勇寬幸恂雄有寬三一夫郎郎次德彪雄彦助男三郎夫道
 敏義康榮 敬信 數忠 德治 誠高 秀義 一政 羅重 窪野 倉田 山井 川條 井原 田俊 鐵研 八敏 知
 橋崎村博友澤藤山原路崎崎中木原入津野場中多高谷鶴富中永新野林平福藤北松松麥茂八安山橫吉
 市岩梅小大岡加片粟小川韓藏佐柳題下杉善田多高谷鶴富中永新野林平福藤北松松麥茂八安山橫吉
 吾夫弘義之勝衛梢郎一行夫勝平稔一二郎明彦寬夫實郎雄明義郎弘意永滋二平武進要三賀稔勝斌男
 省照包博芳直二十九直一敏喜良樹太昌正敦太文五七充勇榮格隆利朝之一
 谷江山藤塚崎藤形原出賀村永藤本水美德波中村橋野祐阿西山喜崎野井井畑田今鵬本山田口本
 板入內遠大岡加片粟小古河清近坂清島新仙田田高館辻富中中新沼濱平福藤古町松宮村森安山山吉
 已司武夫人仁藏雄夫司齋巖一年夫英助多久夫亨厚夫郎夫強弘郎赫保信新夫海郎夫志幹藏忠巖治哲
 正兵俊隼海貞克良隆山繁士將之俊喜太一二孝一重秀輝二英尙宏卓田口田恒
 原成井木塚山藤平田池山畑谷學富功石紀中村務田久谷村田田房尾谷留木田田本內口田田
 石今白榮大大加片龜小小河菊高坂清庄白鈴田田高武津德中仁西花平深福船町松宮村森谷山山吉
 郎堯明策郎晴正芳豐榮行明已助夫之衛美明男雄行見保男博夫男郎彌夫保夷實夫晟夫司雄弘雄香夫
 志萬卓常明茂久正千克幸博宗弘志靖正裝廣春年敏義三季刻廣治一武忠典敏欣和
 橋角田崎川本賀間子池林西多志波島谷井木部村島下森肥城村雲川房井田留本田下村上野內田田
 石稻上江及大加風金小小川喜合佐鮫澁白鈴園田高竹近土中中南西花平廣福藤牧松三村森矢山山山吉
 雄功志勇彦夫一澄雄郎橡雄郎郎夫幹璋男一亮郎一薰郎浩徹志夫德豐助司貴公郎雄明邑助郎
 光高利嘉永康清敏三元菊三一志武保壽義一利賢一堅達之拓正一美繁計一義一
 川雲村川崎嶺本田間司林手村池藤山原田木田邊井橋澤賢一堅達之拓正一美繁計一義一
 石出岩江尾大岡角梶郡小川木鴻佐篠篠徐餘園田高高谷土中中長西奏比廣福藤星松三村守八山山山吉
 衛平正治雄次俊美明治成行義喻茂曆夫吉男誌政雄雄男憲雄男生男饒世富朗一人雄廉潔久郎茂藏
 兵松大邦稷正克善隆忠正義和伸治一秀芳義英英健實元森敬孝紫兼義泰嘉嘉久郎茂藏
 與原間原田野田沼又崎長田野田藤田里村本谷邊橋川塚川村井場田光岡澤子尾山上井垣嘉嘉久郎茂藏
 上原間原田野田沼又崎長田野田藤田里村本谷邊橋川塚川村井場田光岡澤子尾山上井垣嘉嘉久郎茂藏
 石市岩漆小大岡柿勝黑小川神栗佐迫七下杉會田平高谷手中中長西馬原弘福藤星松丸村本八柳山山吉

吉 田 元 吉 永 明 吉 野 秀 吉 藤 和 夫 吉 滿 肇 吉 村 虎 藏
 吉 本 洋 和 田 正 志 渡 邊 幹 太 渡 邊 正 佐 々 木 修 二 高 橋 一 男
 月 野 弘 坪 田 正 志 福 島 穰 増 原 勉

土 木 學 會 々 員 數

(昭. 17. 2. 23. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合 計
2	4 148	6 057	1 252	137	25	11 620

正會員 伊藤百世君, 豊島正一君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

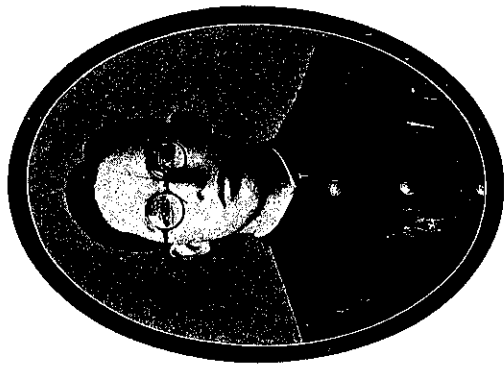
准會員 梅澤 祝君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を表す

准會員 望月林作君は昭和 16 年 12 月 20 日香港島攻略戦に於て名譽の戦死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

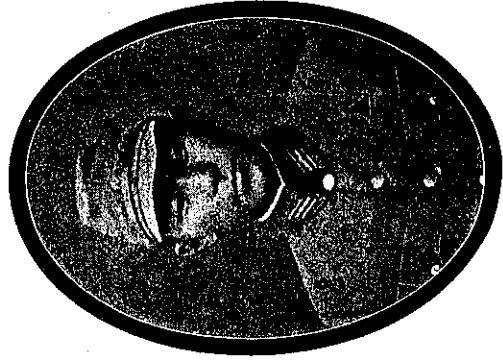
名譽の戦死會員



故 黒川正雄君
明治44年2月11日生
大阪府和泉町桑原218
昭和7年3月 日本大學專門部工科
土木科卒業
大阪府土木部堺港修業工營所勤務
昭和15年11月3日 廣東省順德縣
南水附近に於て戦死



故 望月林作君
大正8年11月15日生
清水市蛇塚60の1
昭和15年3月 日本大學專門部工科
土木科卒業
朝鮮總督府司政局平壤土木出張所海州
修業事務所勤務
昭和16年12月20日 香港島攻略戦
に於て戦死



故 鈴木宣邦君
大正8年12月20日生
東京市下谷區上野櫻木町17
昭和18年3月 東京帝國大學工學
部土木工學科卒業
朝鮮總督府司政局京城土木出張所勤務
昭和17年2月15日 佛印に於て戦死

442-1

既刊會誌殘部内譯

(昭和17. 3. 現在)

(* は残部有るものを示す)

卷 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1部) (圓)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	—	*	*	—	*	*	—	1.00
18	—	—	*	—	*	*	*	*	*	*	*	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
20	—	—	*	—	—	—	*	—	*	—	*	—	1.00
21	—	—	*	*	—	—	*	—	*	—	*	*	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	—	—	*	*	*	*	—	*	1.00
24	*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	—	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	*	—	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	*	—	*	*	*	—	1.00
27	—	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00
28	*	*	*	—	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
第 20 卷第 12 號 (創立 20 周年記念號)													1.50
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震發着調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書													1.20
同上 解説													
土木學論文抄録第一輯													3.50
土木學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號~第 20 卷第 12 號)													0.50
土木學用語集													2.50

上記残部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16528 番にお拂込み下さい。